

総務省「情報流通連携基盤の生鮮農産物トレーサビリティ情報における実証に係る請負」事業の報告

実証事業の実施者 代表：野村総合研究所 協力：日本GAP協会

日本GAP協会は、日本GAP協会会員である(株)野村総合研究所が総務省より受託した「情報流通連携基盤の生鮮農産物トレーサビリティ情報における実証に係る請負」事業を支援いたしました。本実証事業では、生鮮農産物の分野で使用できる「情報流通連携基盤システム」を構築し、農場に蓄積されている生鮮農産物の栽培情報、品質情報、流通情報、消費者の評価情報等を収集し、それらを農場、流通業者、消費者等へ提供することで、情報を利活用する実証を行いました。また、農産物以外の他分野とのデータ連携やシステムの備えるべき要件について検証を行いました。

●実証事業の背景

- 情報流通連携基盤構築の必要性
- 生鮮農産物の安全性に係る情報の重要性の高まり

●実証事業の目的

本実証は、生鮮農産物情報連携基盤システムを構築し、生鮮農産物情報の提供・トレーサビリティ・フィードバックなどの実証を行い、システムの技術・仕組みの有効性、対象情報の妥当性等の検証を行うことなどを主な目的として実施した。

実証事業の概要と特徴

ここが新しい！

生鮮農産物情報と他分野の情報のマッシュアップが可能に。例えば、気象情報や地理情報、医療情報などとマッシュアップすることで新たな情報を生み出すことができます。

他分野の
情報流通連携基盤
システム

ここが新しい！

生鮮農産物情報流通連携基盤システム上で日本GAP協会の標準書式が閲覧可能に。農業生産者が農場管理システムのデータを更新すると、自動的に標準書式の内容も更新されます。

消費者

≫情報入力
・評価情報



≪閲覧
・流通情報（農場および流通業者）

生鮮農産物
情報流通連携基盤
システム

流通業者

≫情報入力
・流通情報（荷受け、出荷（or販売））
・評価情報



≪閲覧
・流通情報（農場）

ここが新しい！

商品（パッケージ）一つ一つに異なる番号を付与することが可能に。出荷した商品がいつ、どこにあるか、どこで販売され、いつ購入されたかわかります。さらに、消費者、流通業者からアンケート回収もできるので、消費者の嗜好を探ることもできます。

農業生産者（農場）

- ≫情報入力および作業
- 異なるITベンダーの農場管理システムから栽培情報を入力
- パッケージ毎に異なる番号のQRコードを発行しパッケージに貼付



≪閲覧
・流通情報（流通業者）

ここが新しい！

農業生産者は自分の使用する農場管理システムに栽培情報を入力するだけ。どのメーカーの農場管理システムを使用しても生鮮農産物情報流通連携基盤システムとつながることができ、栽培情報を公開できます。

実証事業参加農場

| 農産品分野 | 農場名 | 所在県 | 規模(年間出荷量) |
|---------|-----------|------------|-----------|
| 野菜(トマト) | とまとランドいわき | 福島県いわき市 | 大規模(800t) |
| | 宮野秀平農場 | 千葉県旭市 | 中規模(80t) |
| | いばらき農流研 | 茨城県小美玉市 | 中規模(20t) |
| | 野村和郷ファーム | 千葉県香取市 | 小規模(9t) |
| 果物(リンゴ) | 木村りんご園 | 青森県弘前市 | 中規模(100t) |
| | セトファーム | 青森県北津軽郡鶴田町 | 中規模(100t) |

栽培情報や評価情報の主な内容

| 生鮮農産物情報 | 中項目 | 入力者 | 主な内容 |
|---------|------------|---------|---|
| 栽培情報 | 肥料使用実績 | 農場 | 施肥日、肥料名、施肥量、施肥方法、作業名等 使用日、農薬名、希釈倍率、対象病害虫、作業名等 日本GAP協会が検討中の「JGAP標準帳票(案)」を使用 農場と流通業者間での品質管理に必要な栽培情報の帳票 |
| | 農薬使用実績 | | |
| 品質情報 | 栽培情報 標準帳票案 | 農場、流通業者 | 品質、糖度 |
| 流通情報 | 流通情報 | 流通業者 | 場所、拠点名称、入荷日時、出荷日時 |
| 評価情報 | 流通業者評価情報 | 流通業者 | 記入者の属性(流通業者名)、外見に関する評価 |
| | 消費者評価情報 | 消費者 | 記入者の属性(年齢、性別、都道府県等)、購入の頻度、 購入の決め手、味に関する評価、価格に関する評価 |